

役員 2019年3月20日現在

■取締役

取締役 会長	丹呉 泰健
代表取締役 社長	寺島 正道
代表取締役 副社長	岩井 睦雄
代表取締役 副社長	見浪 直博
代表取締役 副社長	廣渡 清栄
取締役	山下 和人
取締役	幸田 真音*
取締役	渡邊 光一郎*
取締役	長嶋 由紀子*

*取締役 幸田 真音、渡邊 光一郎および長嶋 由紀子は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役	永田 亮子
常勤監査役	山本 博
常勤監査役	三村 亨*
監査役	大林 宏*
監査役	吉國 浩二*

*監査役 三村 亨、大林 宏および吉國 浩二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長	(最高経営責任者)
副社長	(たばこ事業本部長)
副社長	(最高財務責任者、コミュニケーション担当)
副社長	(コーポレート・医薬事業・食品事業担当)
専務執行役員	(コンプライアンス・サステナビリティマネジメント・総務担当)
専務執行役員	(たばこ事業本部 国内たばこ事業プレジデント)
常務執行役員	(たばこ事業本部 事業企画・渉外担当)
常務執行役員	(たばこ事業本部 セールス担当)
執行役員	(たばこ事業本部 原料担当)
執行役員	(たばこ事業本部 品質保証担当)
執行役員	(たばこ事業本部 RRPディベロップメント担当)
執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング担当)
執行役員	(たばこ事業本部 R&D担当)
執行役員	(たばこ事業本部 製造担当)
執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長)
執行役員	(医薬事業部長)
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)
執行役員	(食品事業担当)
執行役員	(法務担当)
執行役員	(企画担当)
執行役員	(ビジネスディベロップメント担当)
執行役員	(コミュニケーション担当)
執行役員	(デジタルイゼーション担当)
執行役員	(総務担当)
執行役員	(サステナビリティマネジメント担当)
執行役員	(人事担当)

寺島 正道
岩井 睦雄
見浪 直博
廣渡 清栄
山下 和人
佐々木 治道
福地 淳一
清川 栄一
小倉 健資
伊熊 浩之
中島 康裕
廣末 秀一
三木 啓介
小柳 明弘
小口 徹
藤本 宗明
大川 滋紀
川股 篤博
山田 晴彦
前田 勇気
筒井 岳彦
中野 恵
柴山 武久
菊池 孝徳
小川 千種
森 功一

株主・投資家の皆さまへ
業績報告書

vol.62



株価の推移 1994年10月27日上場～2019年1月 当社株価（東証終値、月間）



*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

2018年度実績および2019年度業績見込
JT NEWS

ひとの
ときを、
想う。 JT

紙巻たばこ・RRPの双方に注力し、 着実な利益成長を達成



代表取締役社長
寺 島 正 道

2018年度 実績

2018年度は、厳しい事業環境が継続したものの、利益を成長させつつ、将来に向けた基盤強化をしっかりと推進できたという点において充実した年となりました。

全社利益指標である為替一定ベース調整後営業利益は、対前年8.9%の成長となりました。

一方、為替影響を含む財務報告ベースでは、特に下半期に為替の不利な影響を大きく受け、調整後営業利益は1.7%の成長となりました。

海外たばこ事業については、台湾、フランス、ロシア等での総需要減少影響があったものの、2017年度から2018年度にかけて実施した複数の買収の効果で、総販売数量は対前年7.3%の増加、GFB*販売数量は、「ウィンストン」「キャメル」「LD」の好調により、対前年2.3%

の増加となりました。

ドルベース・為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益・調整後営業利益は、それぞれ対前年12.2%、21.3%の成長を達成しました。買収効果に加え、ロシア、イラン、英国、フィリピン、台湾などでのプライシング効果が成長を牽引しました。

なお、ロシアルーブルやイランリアル等の現地通貨安の影響を大きく受けましたが、為替の影響を含む財務報告ベースにおいても増収増益となっております。

国内たばこ事業については、昨年10月のたばこ増税に伴う定価改定後も総需要が想定以上に底堅く推移し、当社の紙巻販売数量も対前年で減少したものの、見通しを上回る結果となりました。

また、「プルーム・テック」のたばこカプセル販売数量は、紙巻たばこ換算で28億本となりました。

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少を、「プルーム・テック」の伸長および定価改定後の紙巻たばこの単価上昇効果がほぼ相殺しました。なお、このうち「プルーム・テック」のたばこカプセルやデバイス等を含むRRP*関連売上収益は、646億円となりました。

調整後営業利益については、紙巻販売数量の減少と「プルーム・テック」を中心とした販促費の増加に伴い、対前年で10.0%の減益となりました。

医薬事業では、導出品に係るロイヤリティ収入の増加等により、対前年で8.9%の増収、18.0%の増益となりました。

加工食品事業については、売上収益は対前年で1.1%の減収、調整後営業利益は原材料費の高騰により、23.6%の減益となりました。

2019年度 業績見込

経営計画2019においても、引き続き中長期に亘る持続的な利益成長（為替一定ベース調整後営業利益について、年平均1桁台半ばから後半のパーセンテージでの成長）を目指してまいります。

その中で、2019年度については、医薬事業では抗HIV薬に係る国内の独占的ライセンス契約解消の影響等で大幅な減益を見込んでいたものの、国内たばこ事業は利益成長へ回帰するとともに、海外たばこ事業においても引き続き高水準の利益成長を計画していることから、たばこ事業トータルでは約7%の成長、全社の為替一定ベース調整後営業利益は、対前年2.4%の成長を見込んでいます。

一方、財務報告ベースでの調整後営業利益は、現地通貨安の影響を受け、8.3%の減益となる見通しです。

株主還元

ここであらためて当社の経営理念である4Sモデルをご紹介します。4Sモデルとは、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」というものであり、この経営理念に基づき、「中長期に亘る持続的な利益成長につながる事業投資を最優先に実

行し、同時に事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視する」という経営資源配分方針を掲げております。

2018年度の1株当たり年間配当金は当初予想通り150円をお支払いいたします。また、2019年度については、安定的・継続的な成長を目指すというこれまでの方針に変更はありませんが、従来、判断の指標としていた為替一定ベース調整後営業利益に加え、当期利益の水準も加味して検討した結果、4円増配となる154円を予定しております。また、株主還元の一環として、500億円もしくは2,300万株を上限とする自己株式の取得についても実施しております。

事業環境はより不確実性を増しております。このような環境下においても、JTグループがお客様を中心とした株主、従業員、そして社会から必要とされる存在であり続けるために、大胆かつスピーディに意識・行動を変革し、持続的な利益成長を果たしてまいります。

- *1 JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」の4ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)としております
- *2 RRPは、加熱式たばこ製品や、E-Vapor（電子たばこ）製品等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品を指しております。当社が日本国内で発売している加熱式たばこ製品は、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させることなく、発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品です

2018年度 全社実績

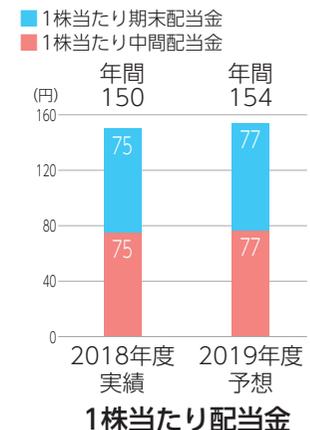
	2017年度実績 (2017年1-12月)	2018年度実績 (2018年1-12月)	対前年増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益*1	5,853	6,372	+8.9%
財務報告ベース			
売上収益	21,397	22,160	+3.6%
調整後営業利益*1	5,853	5,955	+1.7%
営業利益	5,611	5,650	+0.7%
当期利益*2	3,924	3,857	-1.7%

1 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)
*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失+リスストラッキング収益および費用等

*2 親会社の所有者に帰属する当期利益

2019年度 全社見込

	2018年度実績 (2018年1-12月)	2019年度見込 (2019年1-12月)	対前年増減	対前年増減率
	5,955	6,100	+145	+2.4%
	22,160	22,000	-160	-0.7%
	5,955	5,460	-495	-8.3%
	5,650	5,400	-250	-4.4%
	3,857	3,700	-157	-4.1%



海外たばこ事業

✓今期のポイント

- 2017年度および2018年度に実施した買収の効果により、総販売数量は増加
- 主要市場でのシェア伸長等により、GFB販売数量は増加
- 単価上昇効果により、為替一定ベースの調整後営業利益は増益

業績サマリー

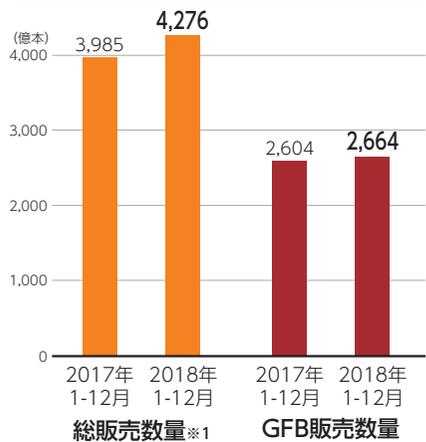
総販売数量 4,276 億本 前年同期比 +291億本↑ +7.3%↑	自社たばこ製品売上収益 為替一定ベース/ドルベース 11,780 百万ドル 前年同期比 +1,282百万ドル↑ +12.2%↑
GFB販売数量 2,664 億本 前年同期比 +60億本↑ +2.3%↑	調整後営業利益 為替一定ベース/ドルベース 3,808 百万ドル 前年同期比 +670百万ドル↑ +21.3%↑

主要市場シェア (12か月移動平均)

	2017年 12月	2018年 12月	増減%pt
フランス	22.0%	23.2%	+1.2%pt
イタリア	23.1%	23.9%	+0.7%pt
ロシア (うちGFBシェア)	32.9% (23.7%)	35.6% (24.8%)	+2.6%pt (+1.1%pt)
スペイン	24.0%	24.8%	+0.8%pt
台湾	41.7%	42.5%	+0.8%pt
トルコ	28.8%	27.7%	-1.1%pt
英国	40.5%	41.3%	+0.8%pt

小数点第一位未満を四捨五入して表示しております
 Source: IRI, Nielsen, Logista, JTI調べ/出典元の過去データ修正も反映しております

販売数量実績



※1 水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む

財務実績



※2 物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRPの売上を含む

国内たばこ事業

✓今期のポイント

- 紙巻販売数量は減少するも、定価改定後の販売実績は想定を上回る
- [メビウス]等の堅調なパフォーマンスにより、JT紙巻シェアは対前年で伸長
- 紙巻販売数量の減少をRRP関連売上収益が一部相殺するも、減収・減益

業績サマリー

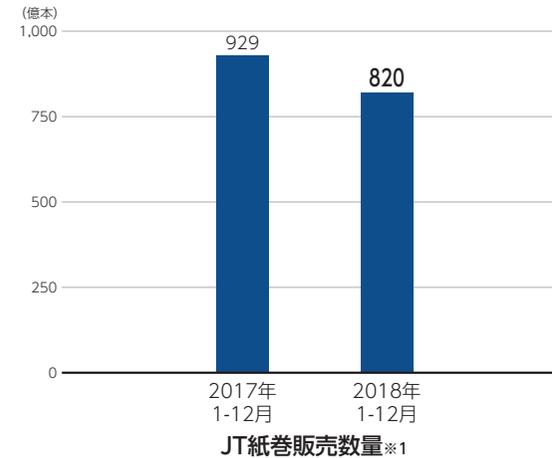
JT紙巻販売数量 820 億本 前年同期比 -109億本↓ -11.7%↓	自社たばこ製品売上収益 5,824 億円 前年同期比 -82億円↓ -1.4%↓
調整後営業利益 2,090 億円 前年同期比 -233億円↓ -10.0%↓	

JT紙巻シェア/注カブランドシェア

	2017年 1-12月	2018年 1-12月	増減%pt
JT	61.3%	61.8%	+0.5%pt
MEVIUS	31.4%	31.4%	+0.1%pt
Winston	8.1%	8.0%	-0.1%pt
SevenStars	7.6%	7.9%	+0.3%pt
AMERICAN SPIRIT	1.8%	2.0%	+0.1%pt

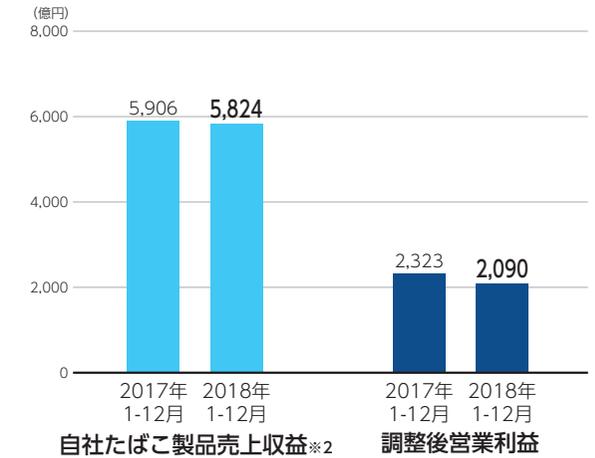
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております

販売数量実績



※1 国内免税販売/中国事業/RRPを含まない

財務実績

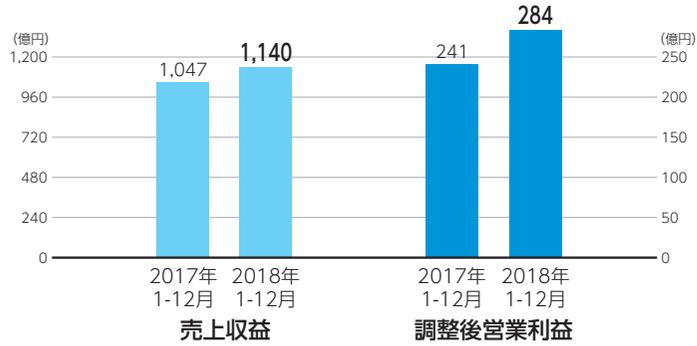


※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRPの売上を含む

医薬事業

- ✓ **今期のポイント**
 - ロイヤリティ収入増を主因に増益
 - 2018年度の売上収益、調整後営業利益には、抗HIV薬関連の契約解消影響なし

財務実績



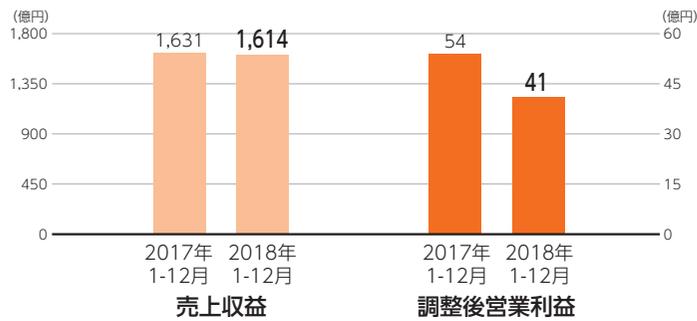
前年同期比
+93億円↑
+8.9%↑

前年同期比
+43億円↑
+18.0%↑

加工食品事業

- ✓ **今期のポイント**
 - 原材料費の高騰等により減益

財務実績



前年同期比
-18億円↓
-1.1%↓

前年同期比
-13億円↓
-23.6%↓

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ①喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ②たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③国内外の訴訟の動向
- ④国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化および需要の減少
- ⑦買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧国内外の経済状況
- ⑨為替変動および原材料費の変動
- ⑩自然災害および不測の事態等

連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 12月末	2018年 12月末	増減金額
資産			
流動資産	1,707,767	1,809,406	101,639
非流動資産	3,513,717	3,651,993	138,277
有形固定資産	745,607	758,841	13,234
のれん	1,891,210	2,008,416	117,206
無形資産	479,175	503,076	23,901
投資不動産	16,700	17,558	858
退職給付にかかる資産	51,377	57,140	5,764
持分法で会計処理されている投資	81,253	66,807	△14,446
その他の金融資産	114,970	115,046	76
繰延税金資産	133,425	125,109	△8,316
資産合計	5,221,484	5,461,400	239,916

(単位：百万円)

科目	2017年 12月末	2018年 12月末	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,478,623	1,430,185	△48,438
非流動負債	900,833	1,330,770	429,937
負債合計	2,379,456	2,760,955	381,499
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,761,687	2,630,594	△131,093
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△443,636	△442,829	807
その他の資本の構成要素	△167,338	△423,357	△256,019
利益剰余金	2,536,262	2,660,381	124,119
非支配持分	80,340	69,851	△10,489
資本合計	2,842,027	2,700,445	△141,583
負債および資本合計	5,221,484	5,461,400	239,916

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-12月	2018年 1-12月	増減金額
売上収益	2,139,653	2,215,962	76,310
売上原価	△843,558	△933,034	△89,476
売上総利益	1,296,094	1,282,928	△13,166
その他の営業収益	45,724	48,532	2,808
持分法による投資利益	6,194	3,931	△2,263
販売費および一般管理費等	△786,911	△770,407	16,504
調整後営業利益※	585,300	595,463	10,162
営業利益	561,101	564,984	3,883
金融収益	4,780	5,754	974
金融費用	△27,349	△39,252	△11,903
税引前利益	538,532	531,486	△7,046
法人所得税費用	△141,783	△144,055	△2,272
当期利益	396,749	387,431	△9,317
当期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期利益	392,409	385,677	△6,732
非支配持分に帰属する当期利益	4,340	1,755	△2,585
当期利益	396,749	387,431	△9,317

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)*

*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失＋リストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-12月	2018年 1-12月	増減金額
当期利益	396,749	387,431	△9,317
税引後その他の包括利益	157,449	△258,129	△415,579
当期包括利益	554,198	129,302	△424,896
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	549,309	128,340	△420,969
非支配持分に帰属する当期包括利益	4,889	962	△3,927
当期包括利益	554,198	129,302	△424,896

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-12月	2018年 1-12月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,212	461,389	42,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,632	△383,307	△30,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,032	△62,360	14,672
現金および現金同等物の増減額(減少)	△10,452	15,721	26,174
現金および現金同等物の期首残高	294,157	285,486	△8,670
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	1,782	△19,145	△20,927
現金および現金同等物の当期末残高	285,486	282,063	△3,424

JT NEWS

加工食品新商品紹介

JTグループ商品のご紹介



讃岐麺一番 肉ぶっかけうどん 大盛り

電子レンジ調理 1食入/370g

■夏にこそ食べたいボリューム麺

ごっつ旨い お好み焼

電子レンジ調理 1食入/300g

■シャキシャキ食感の国産キャベツと、海鮮の旨みが自慢



「ごっつ旨い お好み焼」がパッケージをリニューアル！ 冷凍お好み焼きブランドでは売上No.1を誇る「ごっつ旨い」シリーズが20周年を迎えました。また5月2日が「ごっつの日」として記念日に制定されたことから、4月から5月にかけて、プレゼントキャンペーンを実施します。詳細は、テーブルマークWEBサイトをご覧ください。

担当者コメント テーブルマーク(株) 商品統括部 商品開発部 浅野 嵐

甘辛く味付けした牛肉の旨みと甘みが、もちもちした食感のうどんによく絡む、夏場にうれしいぶっかけうどんです。トレー入りでお皿がいらず、外袋のまま電子レンジで調理できますので、手軽にお召しあがりください。



宮城県産ひとめぼれ (分割)4食

電子レンジ調理、熱湯調理 600g(150g×4食入)

■銘柄米シリーズに「宮城県産ひとめぼれ」がラインナップ。1食分150g(お茶碗1杯分)の便利で使いやすい分割タイプです。


 たばこ新商品紹介

『プルーム』に2つの新製品が加わり、3ラインナップ展開に! 低温加熱型デバイス「プルーム・テック・プラス」 高温加熱型デバイス「プルーム・エス」



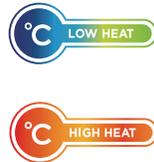
JTは、低温加熱型のたばこ用デバイス「プルーム・テック・プラス」および高温加熱型のたばこ用デバイス「プルーム・エス」を、1月29日（火）より、Ploomオンラインショップおよび全国Ploom専門店にて販売開始しました。

これにより、JTが販売する加熱式たばこ用デバイスは、発売中の低温加熱型の「プルーム・テック」と合わせて3ラインナップの展開となります。

■加熱式たばこは“温度”で選ぶ時代へ

これまで加熱式たばこは、紙巻たばこと比較の中で、“健康懸念物質が少ない”、“燃焼にともなう煙がない”等と「低温加熱型」と「高温加熱型」を分けず、ひとくりに捉えられていました。しかし、同じ加熱式たばこでも、加熱する“温度”によって特徴は異なります。

JTでは特徴の違いによってお客様が加熱式たばこ製品を選択いただけるように「低温加熱型」と「高温加熱型」の2つのカテゴリーの製品をラインナップしました。



*1 嗅覚検査に合格して一般的な嗅覚をもつことが確認されている6名による三点比較式臭袋法に基づく判定。紙巻たばこの煙とプルーム・テック/プルーム・テック・プラス/プルーム・エスのたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を無臭の空気希釈し、それぞれ入れた袋のにおいをかぎ、「ちょうどにおいがなくなる希釈倍数」を統計に数値化した。

*2 このページは株主の皆様へに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。



低温加熱型デバイス「プルーム・テック・プラス」

■吸いごたえをプラスした低温加熱型

JT独自の「低温加熱方式™」を採用した低温加熱型の製品。「プルーム・テック」のにおいの少なさはそのままに、たばこ葉とたばこペーパーを増量し、「プルーム・テック」以上の吸いごたえを実現しました。「プルーム・テック」は、多彩なフレーバーとクリアなたばこの味わいが特徴ですが、「プルーム・テック・プラス」は、たばこらしい、奥深い味わいをお求めのお客様に適した製品です。

■におい1%未満*1、健康懸念物質99%以上カット*2はそのままに

同じ低温加熱型である「プルーム・テック」と同等レベルで、においや健康懸念物質を低減しました。吸いごたえを向上させながらも、低温加熱型が持つ特徴を維持することに成功しました。飲食店等の周囲に人が多い場所や、車の中等でも周囲に配慮しながらお楽しみいただけます。

スターターキット価格（税込）：4,980円

内容物：バッテリー、カートリッジカバー+カプセルホルダー、ACアダプター、マイクロUSBケーブル



高温加熱型デバイス「プルーム・エス」

■メビウスらしい味わいの高温加熱型

JT独自の「リアル香味製法」と、最適な加熱温度設定により、たばこ葉のうまみを際立たせ、国内紙巻たばこNo.1*3ブランドの「メビウス」らしい“クセが無く”、でも“うまみがあり”、“飽きのこない”味わいをお届けします。

■高温加熱型特有のにおいも低減

周囲に配慮した心地よい一服であるために、紙巻たばこに比べにおいを大幅に減らしたのはもちろんのこと、味わいを阻害する高温加熱型特有のにおいも抑えました。なお、紙巻たばこと比較し、におい5%未満*1、健康懸念物質90%以上カット*2を実現しました。

スターターキット価格（税込）：7,980円

内容物：デバイス、ACアダプター、マイクロUSBケーブル、クリーニングブラシ

*2 本製品の使用に伴う健康へのリスクが紙巻たばこ比べて小さいことを説明するものではありません。紙巻たばこの煙1パフとプルーム・テック/プルーム・テック・プラス/プルーム・エスのたばこペーパーの1パフに含まれる、WHOがたばこ煙中の含有量を優先して低減すべき物質として選択している9物質の量を比較。紙巻たばこは、試験用標準紙巻たばこ(3R4F)を選定。

*3 2019年1月時点、JT調べ。

工場見学会開催のご報告

日程 2018年11月9日(金)、11月10日(土) **場所** テーブルマーク魚沼水の郷工場 **人数** 40名(1日あたり、定員)

2018年11月9～10日、「テーブルマーク魚沼水の郷工場」にて株主様向けの工場見学会を開催しました。おかげさまで大変多くのご応募を頂戴し、その中から抽選によりご当選された株主様ならびにご同伴者様にご参加いただき、好評のうちに終了しました。

当社グループ事業をより一層ご理解いただくとともに、株主の皆様とコミュニケーションを深めるための機会として、今後も工場見学会を企画・実施してまいります。

1日の流れ



ご参加いただいた皆様の声



ほとんどが機械化されていて、効率良く生産されているのが印象的。



説明・案内してくれた方々が質問にテキパキと答えしており、礼儀正しく親切で温かさを感じました。



おいしいうどん・ご飯を作る工程がよく分かり、楽しむことができた。



製造ライン全体がすっきりとしていて、無駄がなく、食品工場として衛生面でも進んでいると思いました。



製品をもっと味わって食べたいと思った。今後も冷凍うどん・パックご飯を愛用します。

株主優待における寄付について

2018年6月30日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災及び熊本地震の復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、10,196名の株主様にご選択いただきました。

その合計金額17,337,000円を2019年1月18日に社会福祉法人 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金2』及び『災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州』を通じて、寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



社会福祉法人
中央共同募金会とは

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れ及び調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

株主優待制度の変更について

2018年11月26日に当社ホームページにてご案内しております「株主優待制度の変更に関するお知らせ」の通り、今後とも当社株式を中長期的に保有していただき、より一層のご支援をいただきたいとの考えから、株主優待制度を変更することといたしました。

現行制度では6月30日及び12月31日基準日の株主様を対象として年2回株主優待を実施しておりましたが、今後は12月31日基準日の株主様を対象として年1回の実施といたします。また、株主優待対象の株主様を、100株（1単元）以上の当社株式を1年以上継続保有された株主様とさせていただきます、贈呈商品の相当額を増額いたします。

Aコース(100株以上200株未満)	: 2,500円相当の当社グループ商品または相当額の寄付
Bコース(200株以上1,000株未満)	: 4,500円相当の当社グループ商品または相当額の寄付
Cコース(1,000株以上2,000株未満)	: 7,000円相当の当社グループ商品または相当額の寄付
Dコース(2,000株以上)	: 13,500円相当の当社グループ商品または相当額の寄付

なお、現行制度は、2019年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様への贈呈をもって終了し、2019年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様から、変更後の新制度を適用いたします。

株主優待に関する
お問い合わせ

JT株主優待事務局 ☎0120-791-187

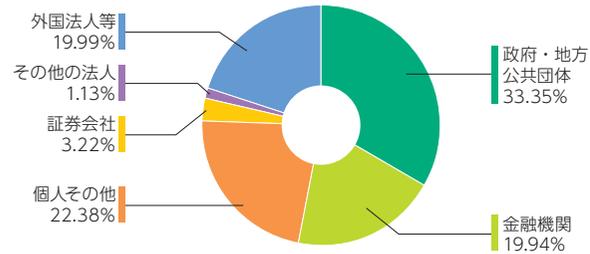
事務代行：三菱UFJ信託銀行(株) 受付時間/平日9:00～17:00 土・日・祝日を除く

会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日
 本社所在地 〒105-8422 資本金 1,000億円
 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル
 TEL.(03)3582-3111(代表)
 FAX.(03)5572-1441
<https://www.jti.co.jp/>

株式の状況 2018年12月31日現在

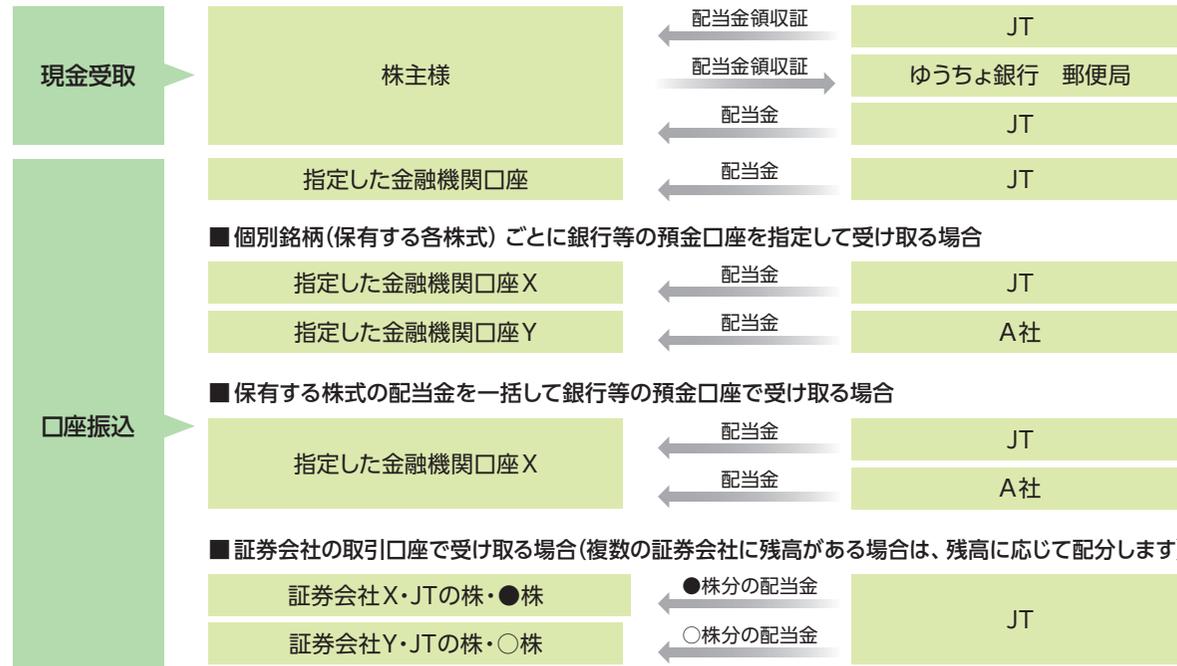
所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株
 発行済株式の総数 2,000,000,000株
 (自己株式 208,576,641株)
 株主数 394,994名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■事務取扱場所
 東京都千代田区丸の内1-4-5
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■お問い合わせ先
 東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

■郵便物送付先
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください